

---

## 大事にしたい いのちのバトン

「自分の番 いのちのバトン」を勉強した。

私がここに生きていられるのは、  
大勢の人のおかげ  
お母さんとお父さんで2人、  
おじいちゃんとおばあちゃん4人、  
そのまた両親で8人  
そう数えていくと、10代で1,024人  
この中で1人でもいなかったら、  
バトンを渡すことができず、  
今の私はここにいない。

お母さんのお母さん、  
そして、そのまたお母さんは、  
どんな気持ちでその時代を生きて  
バトンを渡していったのだろう。  
私の先祖はだれなのかな、と時々考える。  
もしかしたら、  
クラスの中の誰かと兄弟かもしれない。

いのちのバトンはリレーのように、  
次から次へとバトンがまわる。  
少し前まで、私は、今ここに生きているのを  
「あたりまえ」と思っていた。  
でも、今こうして生きていられるのは、  
「奇跡」といってもいいのかなあ。

私は、たまたまお父さんとお母さんの間に生まれた。  
たった一人、たった一人のいのちが、いじめや差別を受けて失われたりすると、  
50万人、100万人、いや、たくさんの人によって受けついできたバトンを、  
失ってしまうことになる。

いのちのバトンは、渡しつづけた人のために、  
そして、未来の人々のために、大事にしていきたい。

(更埴市立埴生中学校 国光日子さん)

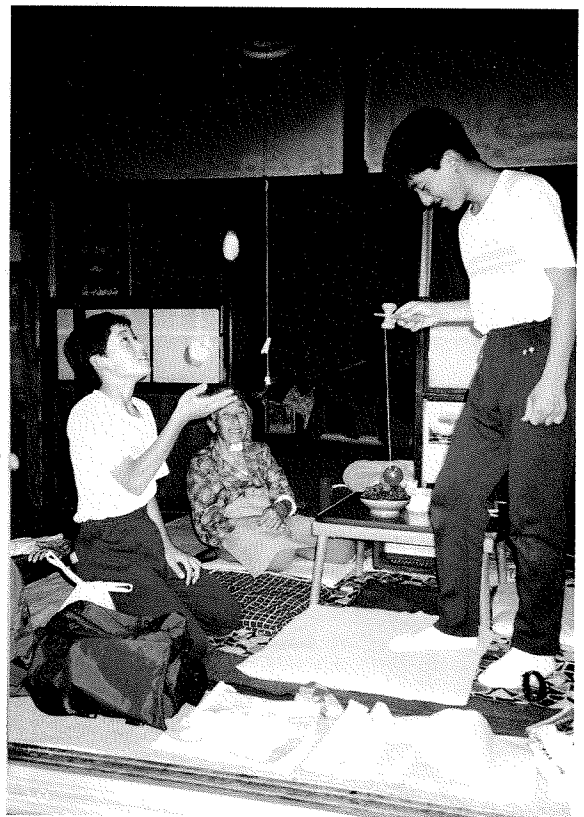
# 共に生きる



生き生き



心の交流



訪問

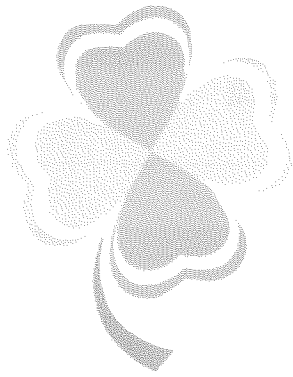
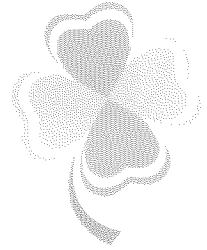


笑顔

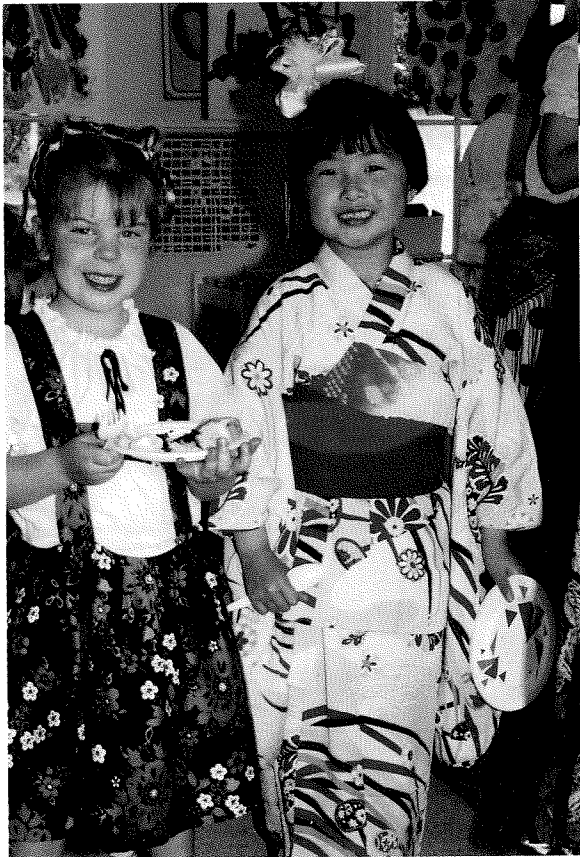
ここで紹介している写真は、学び5「写真合わせ（ピクチャーランゲージ）」で使用することができます。



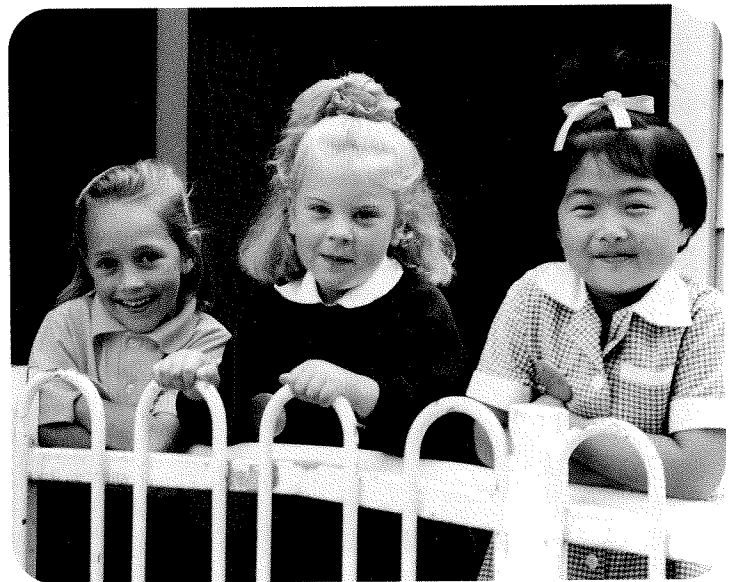
交流 1



交流 2

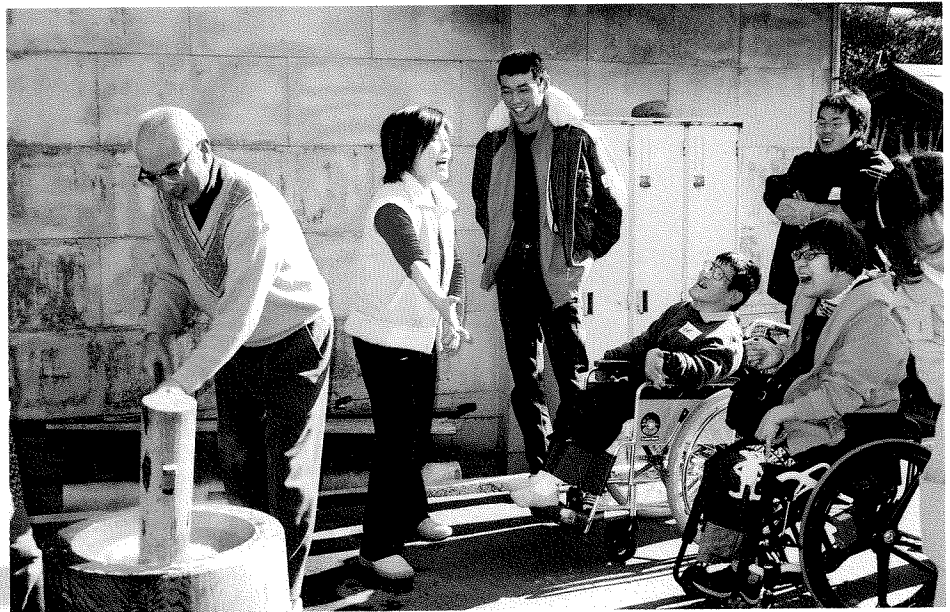
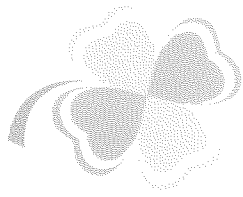


なかよし 1



なかよし 2





共に 1



共に 2



共に 3

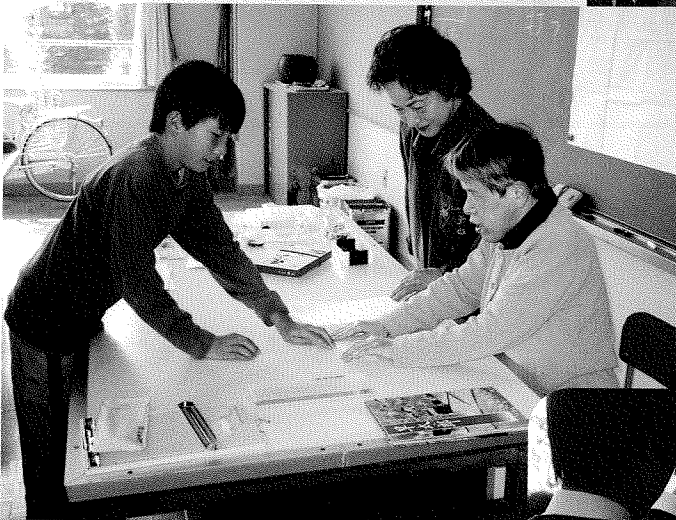


共に 4



共に 5

メッセージ1



メッセージ2



# 共同作業所の仲間



つくる



売る



選ぶ



製品に



このページの写真は、学び16「4枚の写真から」で使うことができます。